

肺炎球菌由来のペプチドグリカン **N**-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1539

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ペプチドグリカン-**N**-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素 (EC 3.5.1.104, HP310, PgdA, SpPgdA, BC1960, ペプチドグリカン脱アセチル化酵素, **N**-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素, ペプチドグリカン **GlcNAc** 脱アセチル化酵素, ペプチドグリカン **N**-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素, **PG N**-脱アセチル化酵素) は、系統名がペプチドグリカン-**N**-アセチルグルコサミンアミドヒドロラーゼの酵素です。この酵素は次の化学反応を触媒します: ペプチドグリカン-**N**-アセチル-**D**-グルコサミン + H₂O → ペプチドグリカン-**D**-グルコサミン + アセテート。この酵素は、ヘリコバクター・ピロリ、リステリア・モノサイトゲネス、ストレプトコッカス・スイの病原性に寄与します。

別名 ペプチドグリカン-**N**-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素; EC 3.5.1.-; HP310; PgdA; SpPgdA; BC1960; ペプチドグリカン脱アセチル化酵素; **N**-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素; ペプチドグリカン **GlcNAc** 脱アセチル化酵素; ペプチドグリカン **N**-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素; **PG N**-脱アセチル化酵素

製品情報

種	肺炎球菌
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepes バッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.5.1.-
分子量	24.2 kDa
純度	>SDS-PAGEによって判断された90%
濃度	1 mg/mL
最適pH	7
最適温度	37 °C
特異性	ペプチドグリカン

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。